

GeoKarte

必ずお守りください！【故障予防編】

<Ver 2.02>

2005.3.9

日東精工(株) ｼﾞﾝｶﾞﾘﾝ製造課

<はじめに>

本書はGeoKarte をご使用される場合、特にご注意ください事項をまとめたものです。以下の事項を守ってご使用していただくことにより、試験機の故障やトラブル等を未然に予防することができます。

また、取扱説明書に記載されている注意事項も必ず読んでいただき正しく作業を行ってください。

<注意事項>

(1) 組み立て・分解・運搬時の注意事項

1. **角型コネクタを取り外す場合は、揺すらずにまっすぐ引っ張り抜いてください。**
角型コネクタを上下または左右に揺らしながら取り外すと、角型コネクタ内部コンタクトが接触不良を起こし、試験機が正しく動作しなくなる場合があります。
2. **角型コネクタはロックレバーで確実に接続してください。**
角型コネクタのロックレバーを使用されない場合や故障している場合は、角型コネクタ内部コンタクトが接触不良を起こし、試験機が正しく動作しなくなる場合があります。
3. **メインケーブルを接続したまま試験機本体を後ろ側に倒して移動させないでください。**
メインケーブルが地面に挟まれ、ケーブルや角型コネクタ等が破損、故障する場合があります。また角型コネクタに力が加わり角型コネクタ内部コンタクトが接触不良を起こし、試験機が正しく動作しなくなる場合があります。
4. **昇降部がスタンドユニットにあたっていることを確認して昇降ユニットを外してください。**
昇降部が浮いている状態で昇降ユニットを取り外そうとすると、固定ボルトがゆるみにくくなります。また無理やり固定ボルトをゆるめようとすると、固定ボルトや雌ねじ側が故障する場合があります。
5. **載荷台ユニットのカムフォロアとベアリングに潤滑油や水をかけないでください。**
内部のグリスが流れ出し回転しなくなります。

(2) 試験準備時の注意事項

1. **試験中は必ずペグ4本を確実に打ってください。(1本～3本ではペグの効果が低下します)**
2. **試験準備時の水平確認は確実に行ってください。**
スクリーポイントの先端がロッドガイドの中心にきていることを確認してください。
試験中に試験機がずれて正しく試験できない場合があります。またロッドが曲がって貫入され、ロッドやスクリーポイントに負担がかかり、折れの原因になったり寿命が短くなります。

(3) 試験中の注意事項

1. **試験中、メインケーブルが引っ掛からないように注意してください。**
メインケーブルを引っ掛けると、ケーブルの断線、角型コネクタの故障、角型コネクタ内部コンタクトの接触不良を起し、試験機が正しく動作しなくなる場合があります。
2. **ロッドの継ぎ足しが固いものは使用しないでください。**
ねじ部（雄ねじ、雌ねじ）の変形や異物の付着などが考えられます。このようなロッドを使用するとロッド接合部故障の原因になります。
3. **打撃を行う時は打撃キャップの真上をまっすぐ叩いてください。**
斜めに打撃されると打撃キャップの内部が変形し、打撃キャップの寿命が短くなります。また打撃キャップの内部が変形したものを使用されると、ロッドの接合部も変形し折れの原因になったり寿命が短くなります。
4. **ロッドを強く叩き過ぎないでください。**
ロッドを強く叩き過ぎると、ロッドやスクリーポイント折れの原因になったり寿命が短くなります。ロッドやスクリーポイントの材料強度、地盤状態、貫入状況などを充分考慮した上で打撃をしてください。
5. **雨天での使用や放置をしないでください。**
本試験機は防滴構造としておりますが防水仕様ではありません。内部に雨水が侵入し故障や感電の原因になります。
試験中に雨が降ってきた場合は、カバーやシート等で試験機に雨水がかからないようにしてください。
6. **試験機に水をかけての掃除はしないでください。**

(4) 周辺機器の注意事項

1. **打撃キャップの頭部や内部が変形したものは使用しないでください。**
打撃キャップは消耗品です。
打撃キャップの内部が変形したものを使用されると、ロッドの接合部も変形し折れの原因になったり寿命が短くなります。
2. **ロッドの肩（雄ねじ根元）のだれたものは使用しないでください。**
ロッドの肩のだれたものを使用されると、ロッド折れの原因になります。このようなロッドに打撃キャップを取り付けると打撃キャップの内部が変形する場合があります。またロッドを継ぎ足すと雌ねじ側割れの原因になります。